

別紙

I. 事業評価総括表（令和2年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当 額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	岡山市竹枝地区コミュニティハウス物品購入事業	岡山市	1,317,833	1,317,833	1,317,833 (総事業費)

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II.事業評価個表（令和2年度）

番号	措置名	交付金事業名				
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	岡山市竹枝地区コミュニティハウス物品購入事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岡山市				
交付金事業実施場所		岡山市北区建部町吉田				
交付金事業の概要		現在ある「吉田生活改善センター」が老朽化により取り壊し、新たに「岡山市竹枝地区コミュニティハウス」を建設するため、そのコミュニティハウスで地域住民が使用する物品を購入し、地域の連帯感、発展を図り、地域コミュニティ活動の円滑な推進を図るものです。（会議用の机・椅子、コピー機など）				
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>【主要政策・施策】 第六次岡山市総合計画(H28年度～H37年度(R7年度)) 長期構想5 都市づくりの10の基本方向 前期中期計画II 分野別計画(政策・施策体系)将来都市像I「経済・都市交流」政策17 多様な主体による協働のまちづくり(協働、ESD) 町内会加入率は減少傾向にあり、役員の高齢化・固定化など組織運営上の課題が生じており、持続可能な地域づくりを進めるためには、町内会をはじめとする地域団地の主体的な活動が継続的に行われるよう支援が必要であります。</p>				
事業開始年度		令和2年度		事業終了(予定)年度 令和2年度		
事業期間の設定理由		—				
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和2年度	
	物品納入後の竹枝地区コミュニティ協議会の構成団体役員の満足度100%	町内会などで構成する竹枝地区コミュニティ協議会の構成員(役員)21人に聞き取り調査を行い、満足度100%を図ります。満足と回答した人の割合満足と回答した人の人数/21名×100	成果実績	%	100	
			目標値	%	100	
			達成度	%	100	
	評価年度の設定理由					
	今年度で納品完了(事業完了)するため。					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
竹枝地区コミュニティハウスは9月に開館しました。コミュニティハウス内に必要な机や椅子など必要なものが整備でき、地域の方々から快適に利用できているという意見を多数いただくとともに、主体性を持って地域コミュニティの持続、形成に努めていくとの意見もありました。今後も地域の意見をくみとりながら、必要な支援に努めて参ります。						

	成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和2年度	年度	年度
	物品購入(会議用机・椅子、コピー機など)	活動実績	式	1.0		
		活動見込	式	1.0		
		達成度	%	100		
交付金事業の総事業費等	令和2年度	年度	年度	備考		
総事業費	1,317,833					
交付金充当額	1,317,833					
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	1,317,833					
交付金事業の契約の概要						
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方		契約金額(円)	
	物品購入	随意契約(少額・見積り合せ)	有限会社 イケダ産業(岡山市)		1,007,600	
			有限会社 オフィス山陽(岡山市)		151,800	
			有限会社 フジ文(岡山市)		158,433	
交付金事業の担当課室	岡山市北区役所建部支所総務民生課					
交付金事業の評価課室	岡山市北区役所建部支所総務民生課					

別紙

I. 事業評価総括表（令和2年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当 額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道小森高富線 舗装修繕工事	吉備中央町	4,400,000	4,400,000	4,842,200 （総事業費）

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II.事業評価個表(令和2年度)

番号	措置名	交付金事業名					
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道小森高富線 舗装修繕工事					
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		吉備中央町					
交付金事業実施場所		加賀郡吉備中央町 高富字小脇 地内					
交付金事業の概要		当路線は、平成26年度から8年計画で全面的な舗装の修繕を実施し、通行人が安心・安全に通行できる道路となるよう交通網の整備をしています。 工事概要 舗装修繕工事L=230.0m W=3.8~6.4m 舗装工A=1,092㎡					
交付金事業に関する市町村の主要政策・施策とその目標		<p>【主要政策・施策】 主要施策は、ありません。 現在、地元から2路線の要望がありますがその中でも、小森高富線は主要道路であり、アスファルト舗装施工後20年余り経ち、路面の老朽化によりワダチ掘れ等が増えたため、全面的な舗装の修繕が必要であることから、小森高富線を選択しました。</p> <p>【危険性概要】 パッチング等応急的な補修を行い維持管理をしてきましたが、路面の老朽化によりワダチ掘れ等が増え、走行中にハンドルが取られたり、冬期には、ワダチ掘れにたまった雨水等が凍結して滑りやすくなる等危険な状態となっています。</p> <p>【目標】 工事終了後(令和3年度)の住民満足度100%以上(自治会長へ聞き取り)</p>					
事業開始年度		令和2年度	事業終了(予定)年度		令和2年度		
事業期間の設定理由							
交付金事業の概要成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和2年度	
		住民満足度100%を目標とする	関係する高富自治会の会長及び班長4人の計5人に聞き取り、満足と回答した人の割合	成果実績	%	100	
				目標値	%	100	
				達成度	%	100	
		評価年度の設定理由					
		毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施後に評価を実施。					
		交付金事業の定性的な成果及び評価等					
		計画どおり整備され、全長2,488mのうち2,240mの工事を完了しました。地域住民に電源立地地域対策交付金の財源により実施している旨を伝え、聞き取り調査した結果100%満足の声と、引き続き当事業による整備に期待する声を頂きました。翌年度も今年度同様に当路線を整備し、住民の満足が得られるようにしていきます。					
評価に係る第三者機関の活用の有無							
無							

交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	工事の進捗率 完成延長/全体延長 全体延長:2,448m		活動実績	%	70	80	90
			活動見込	%	70	80	90
			達成度	%	100	100	100
交付金事業の総事業費等	平成30年度	令和元年度		令和2年度		備考	
総事業費(円)	4,600,800	4,521,000		4,842,200			
交付金充当額(円)	4,400,000	4,400,000		4,400,000			
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	4,400,000	4,400,000		4,400,000			
交付金事業の概要契約の概要							
契約の目的		契約の方法	契約の相手方		契約金額(円)		
工事の請負		指名競争入札	有限会社 成平建設(岡山市)		4,842,200		
交付金事業の担当課室	吉備中央町 建設課						
交付金事業の評価課室	吉備中央町 建設課						

別紙

I. 事業評価総括表（令和2年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は は間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当 額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持 運営等措置	給食センター運営事業	高梁市	10,000,000	10,000,000	16,544,660 （総事業費）

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II.事業評価個表(令和2年度)

番号	措置名	交付金事業名			
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	給食センター運営事業			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		高梁市			
交付金事業実施場所		岡山県高梁市落合阿部(高梁学校給食センター)、岡山県高梁市川上町地頭(川上学校給食センター)			
交付金事業の概要		児童生徒が毎日を健康でいきいきと生活できるよう、水力発電施設周辺地域内の小中学校に給食を提供している学校給食センター2施設の運営事業(会計年度任用職員給食調理員18名の報酬5ヵ月分及び12月期末手当及び会計年度任用職員給食調理員1名の報酬4ヵ月分及び12ヵ月期末手当)に交付金を活用し、安心安全な学校給食の提供と学校給食を通じた食育を推進します。学校給食の献立は、おいしく食べられることはもちろん、多様な食品の組み合わせや栄養バランスが取れたものになることが求められており、会計年度任用職員給食調理員を任用することにより、学校給食を通じた食育の推進や食物アレルギー対策等を行う上で必要な人員を確保しています。また、地域住民の雇用対策にも一翼を担っています。			
交付金事業に関する市町村の主要政策・施策とその目標		交付金事業に関する主要政策・施策 第2次高梁市教育振興計画(平成28年度～令和2年度) 基本方針2 充実した教育環境を整備します 施策5 学校給食の充実を図ります 施策の方向 <ul style="list-style-type: none"> ・食育の推進 ・学校給食における食物アレルギー対策 <ul style="list-style-type: none"> ・献立の充実と地産地消の推進 ・学校給食センターの施設・設備と運営の充実 			
事業開始年度		平成29年度	事業終了(予定)年度		令和2年度
事業期間の設定理由		第2次高梁市教育振興計画の終期まで			
交付金事業の概要成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和2年度
	事業期間の給食実施日における検食簿の「味付」「色彩・形態」「量」「温度」の4項目の評価が「良」となる日数90%以上	検食簿の4項目全てで「良」とされた日の割合 「良」評価の日/給食実施日(2施設平均値)	成果実績	%	98.9
			目標値	%	90
			達成度	%	109.9
	事業期間の給食実施日における食物アレルギーによる事故ゼロ	事業期間の給食実施日における食物アレルギー事故件数	成果実績	件	0
			目標値	件	0
			達成度	%	100.0
	評価年度の設定理由				
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施年度早期に評価を実施。				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				

交付金の活用により、水力発電施設周辺地域内の小中学校に給食を提供している学校給食センター2施設の運営事業(会計年度任用職員給食調理員18名の報酬5か月分及び12月期末手当及び、会計年度任用職員給食調理員1名の報酬4か月分及び12月期末手当に充当)を実施し、安心安全な学校給食の提供と学校給食を通じた食育の推進を行うことができました。なお、1名の会計年度任用職員給食調理員が怪我による治療のため7月は勤務できない状況となりましたが、不定期勤務の給食調理員(交付金事業対象外)による代替勤務などの対応で、支障を生じることなく学校給食の提供を行うことができました。次年度に向けても引き続き、学校給食を通じた食育の推進や食物アレルギー対策などを行う上で必要な人員を確保し、安心安全な学校給食の提供と食育の推進を図っていきます。

評価に係る第三者機関の活用の有無

無

交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	臨時給食調理員の任用量 任用人数(人)×任用期間(月)		活動実績	校	81	89	94
			活動見込	校	85	90	95
			達成度	%	95.3	98.9	98.9
交付金事業の総事業費等	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考			
総事業費(円)	13,303,692	15,466,324	16,544,660				
交付金充当額(円)	10,000,000	10,000,000	10,000,000				
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	10,000,000	10,000,000	10,000,000				
交付金事業の概要契約の概要							
契約の目的		契約の方法	契約の相手方		契約金額(円)		
会計年度任用職員給食調理員人件費		任用	会計年度任用職員給食調理員19名		16,544,660		
交付金事業の担当課室	高梁市教育委員会 教育総務課						
交付金事業の評価課室	高梁市教育委員会 教育総務課						

別紙

I. 事業評価総括表（令和2年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道下湯原線側溝修繕工事	真庭市	7,500,000	7,500,000	8,910,000 （総事業費）
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道寄水長ヤ線道路防災工事	真庭市	8,000,000	8,000,000	9,427,000 （総事業費）
3	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道尾平線道路修繕工事	真庭市	1,500,000	1,500,000	2,057,000 （総事業費）

II.事業評価個表(令和2年度)

番号	措 置 名	交 付 金 事 業 名				
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道下湯原線側溝修繕工事				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		真庭市				
交付金事業実施場所	真庭市下湯原地内					
交付金事業の概要	<p>当該市道は、下湯原地区と国道313号を結ぶ重要な生活道路ですが、道路側溝の老朽化により、側溝が割れるなどして正しく排水されていません。更に、中には側溝が無設置の区間もあり、排水機能が低い路線です。排水がされないことによる民家への浸水等危険性に対する地元の不安の声もあり、排水路の修繕工事の必要が生じていることから工事を実施します。</p> <p>施工延長L=131.6m、幅員W=2.6~3.4m、側溝工L=129.8m、集水樹工N=2基、舗装工A=109m²</p>					
交付金事業に関係する市町村の主要政策・施策と目標	<p>第2次真庭市総合計画(平成27年度~令和6年度)</p> <p>基本計画 第6節 生活しやすく品格のある都市</p> <p>第1項 生活の安全安心を高める</p>					
事業開始年度	令和2年度	事業終了(予定)年度	令和2年度			
事業期間の設定理由						
交付金事業の概要成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	
	住民から改善要望のあった浸水等危険性に対する不安を解消し、地元住民の安全安心や利便性向上につなげ、地域住民の満足度100%を目指します。	満足と回答した人の人数/5人(自治会役員数)	成果実績	%	100	
			目標値	%	100	
			達成度	%	100	
	評価年度の設定理由					
	事業完了年度に総括的な評価を行います。					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	側溝を修繕したことにより、排水機能が向上しました。この結果、近隣住民の不安要素が解消され、満足度を100%にすることができました。					
	評価に係る第三者機関の活用の有無					
	無					

交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	令和2年度	
	施工率 (現在までの施工延長÷全工事区間延長(131.6m))		活動実績	%	100
			活動見込	%	100
			達成度	%	100
交付金事業の総事業費等	令和2年度	年度	年度	備考	
総事業費(円)	8,910,000				
交付金充当額(円)	7,500,000				
うち文部科学省分					
うち経済産業省分	7,500,000				
交付金事業の契約の概要					
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方		契約金額(円)
	道路整備	指名競争入札	有限会社 横辺工務店(真庭市)		8,910,000
交付金事業の担当課室	真庭市建設部建設課				
交付金事業の評価課室	真庭市総合政策部総合政策課				

II.事業評価個表(令和2年度)

番号	措 置 名	交 付 金 事 業 名			
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道寄水長ヤ線道路防災工事			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		真庭市			
交付金事業実施場所	真庭市田口地内				
交付金事業の概要	当該市道は、当市の観光名所のひとつ「美甘溪谷」の中間部に位置する重要な区間であり、国道181号の迂回路としても利用される道路ですが、近年法面からの落石や倒木が多数発生したことから、現在は規制をかけ、通行することのできない状況にあります。この支障を排除し、安全に通行できるようになることで地域住民の安心安全や利便性の向上を図るため工事を実施します。 施工延長L=48.0m、法面工(落石防護網工)A=600m2				
交付金事業に関する市町村の主要政策・施策と目標	第2次真庭市総合計画(平成27年度～令和6年度) 基本計画 第6節 生活しやすく品格のある都市 第1項 生活の安全安心を高める				
事業開始年度	令和2年度	事業終了(予定)年度	令和2年度		
事業期間の設定理由					
交付金事業の概要成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度
	防災工事を行うことで安全に通行できるようにすることにより、地元住民の安心安全や利便性の向上につなげ、地域住民の満足度100%を目指します。	満足と回答した人の人数/5人 (自治会役員数)	成果実績	%	100
			目標値	%	100
			達成度	%	100
	評価年度の設定理由				
	事業完了年度に総括的な評価を行います。				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
	道路防災工事を行うことで規制を解除することができました。この結果、地域住民の利便性が向上しました。さらに、「美甘溪谷」へアクセスし易くなり、観光面でも利用価値が向上しました。				
	評価に係る第三者機関の活用の有無				
	無				

交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	令和2年度	
	施工率 (現在までの施工延長÷全工事区間延長(48.0m))		活動実績	%	100
			活動見込	%	100
			達成度	%	100
交付金事業の総事業費等	令和2年度	年度	年度	備考	
総事業費(円)	9,427,000				
交付金充当額(円)	8,000,000				
うち文部科学省分					
うち経済産業省分	8,000,000				
交付金事業の契約の概要					
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額(円)	
	道路整備	指名競争入札	有限会社 原建設工業所(真庭市)	9,427,000	
交付金事業の担当課室	真庭市建設部建設課				
交付金事業の評価課室	真庭市総合政策部総合政策課				

II.事業評価個表(令和2年度)

番号	措 置 名	交 付 金 事 業 名				
3	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道尾平線道路修繕工事				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		真庭市				
交付金事業実施場所	真庭市吉地内					
交付金事業の概要	<p>当該市道は、下旦土地区と尾平地区を結ぶ唯一の道路です。経年劣化による路肩の損傷が激しくなっており、近年の局地的な豪雨によって道路の崩壊等が起きる可能性があります。また、車両のすれ違いの際、転落した事例があるため、近隣市民の不安の声もあり、道路修繕工事の必要が生じていることから工事を実施します。</p> <p>施工延長L=78.0m、幅員W=3.0(3.5)m、擁壁工V=6.5m³、防護柵工(Gr-C-4E)L=62.0m、防護柵工(Gr-C-2B)L=5.0m、路肩処理工(除草コンクリート)A=31m²</p>					
交付金事業に関係する市町村の主要政策・施策と目標	<p>第2次真庭市総合計画(平成27年度～令和6年度)</p> <p>基本計画 第6節 生活しやすく品格のある都市</p> <p>第1項 生活の安全安心を高める</p>					
事業開始年度	令和2年度	事業終了(予定)年度	令和2年度			
事業期間の設定理由						
交付金事業の概要成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和2年度
	住民から改善要望のあった路肩の修繕や防護柵の設置を実施し、地元住民の安全安心や利便性向上につなげ、地域住民の満足度100%を目指します。	満足と回答した人の人数/5人(自治会役員数)	成果実績	%	100	
			目標値	%	100	
			達成度	%	100	
	評価年度の設定理由					
	事業完了年度に総括的な評価を行います。					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	路肩修繕や防護柵の設置により、安全性の確保ができました。この結果、近隣住民の不安要素が解消され満足度を100%にすることができました。					
	評価に係る第三者機関の活用の有無					
	無					

交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	令和2年度		
	施工率 (現在までの施工延長÷全工事区間延長(78.0m))		活動実績	%	100	
			活動見込	%	100	
			達成度	%	100	
交付金事業の総事業費等	令和2年度	年度	年度	備考		
総事業費(円)	2,057,000					
交付金充当額(円)	1,500,000					
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	1,500,000					
交付金事業の契約の概要						
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方		契約金額(円)	
	道路整備	指名競争入札	有限会社 警友建設(真庭市)		2,057,000	
交付金事業の担当課室	真庭市建設部建設課					
交付金事業の評価課室	真庭市総合政策部総合政策課					

別紙

I. 事業評価総括表（令和2年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は は間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当 額	備 考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持 運営等措置	町営バス車両更新事業	鏡野町	9,000,000	9,000,000	14,027,700 （総事業費）

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II.事業評価個表(令和2年度)

番号	措 置 名	交 付 金 事 業 名				
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町営バス車両更新事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		鏡野町				
交付金事業実施場所	鏡野町竹田					
交付金事業の概要	<p>町営バス車両更新事業 (4WD14人乗り1台・マイクロバス25人乗り1台) 鏡野町では、平成14年の道路運送法改正をきっかけに高齢者を中心とした交通弱者の交通手段を確保するために、日曜・祝日を除く週6日町内4路線で町営バス2台を運行しています。山間地域であるため、交通手段として自動車が必要な状況にありますが、高齢者の運転免許証返納の推進により、移動手段として町営バスの運行は不可欠なものとなっています。 本事業で更新の町営バスは、購入後12年が経過し、走行距離も15人乗り車両が54万キロ、29人乗り車両が79万キロを超えています。また、降雪地帯でもあり融雪剤による車体の腐食も見られ、車両全体の老朽化が激しい状態にあります。 町営バス2台を更新することにより、交通弱者である高齢者及び障害者等の交通手段が確保され、以て医療、買い物等の日常生活を維持することができ、住み慣れた地域で安心して暮らせる、まちづくりの推進が期待されます。</p>					
交付金事業に関する市町村の主要政策・施策と目標	<p>交付金事業に関する主要政策・施策 鏡野町第2次総合計画(平成28年度～平成37年度) 4 快適な生活環境の里づくり 4-9 公共的交通機関の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利便性の確保・向上による利用の促進を図ります。 ・安全で快適に運行できるよう路線の実情や利用人数に見合った車両の整備を行います。 					
事業開始年度	令和2年度	事業終了(予定)年度			令和2年度	
事業期間の設定理由						
交付金事業の概要成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和3年度	
	町営バス利用者の安全確保 町営バスの事故件数0件	令和3年4月～令和3年9月	成果実績	件		
			目標値	件	0	
			達成度	%		
	評価年度の設定理由					
	事業実施年度に更新を行うため、翌年度に評価を実施します。					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					

	評価に係る第三者機関の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	令和2年度	年度	年度
	車両2台を更新する	活動実績	台	2		
		活動見込	台	2		
		達成度	%	100		
交付金事業の総事業費等	令和2年度	年度		年度	備考	
総事業費(円)	14,027,700					
交付金充当額(円)	9,000,000					
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	9,000,000					
交付金事業の契約の概要						
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方		契約金額(円)	
	物品購入	指名競争入札	有限会社原自動車(鏡野町)、有限会社石野輪店(鏡野町)		14,027,700	
交付金事業の担当課室	鏡野町まちづくり課					
交付金事業の評価課室	鏡野町まちづくり課					

別紙

I. 事業評価総括表（令和2年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当 額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道凍結防止剤散布機購入事業	美咲町	4,400,000	4,400,000	4,576,000 （総事業費）

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II.事業評価個表(令和2年度)

番号	措 置 名	交 付 金 事 業 名				
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道凍結防止剤散布機購入事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		美咲町				
交付金事業実施場所	岡山県久米郡美咲町原田 ほか 2件					
交付金事業の概要	<p>美咲町は、急峻な地形に該当する中山間地域であり、町道路線は町民の生活に直結しているため、日常の道路パトロール及び地域住民からの連絡により町道の状況を把握し、安全で快適に通行できる道路環境づくりに努めています。また県北に位置するため気温も氷点下になることや降雪も多く、凍結・積雪により冬場は一般車両通行・スクールバス等非常に危険な状態です。</p> <p>現状では、12月から2月までの軽トラック、車載式小型散布機を2台レンタルし、職員によって中央・旭・柵原地区を凍結・積雪時に散布している状態ですが、2台では3地区を均等に散布することができないため、広範囲かつ効率的に実施するためには3台を各地区に配置することにより凍結・積雪の緊急時もスムーズな対応が可能となります。また、今までの作業時間に平均1時間程度かかっていたものが、30分程度に短縮され、効率的な道路維持が期待できます。車載式小型散布機を購入することで、広範囲にわたり作業ができるため作業効率が向上し、道路環境を良好に保つことができ、地元住民はより安心して通行できるようになります。</p> <p>車載式小型散布機・台車・カバー・高圧洗浄機 3台購入</p>					
交付金事業に関する市町村の主要政策・施策と目標	<p>美咲町第2次振興計画(平成30年度～平成34年度)</p> <p>基本計画 第3章 自然と共生し、安心・安全を感じられる住みやすい幸せなまちづくり</p> <p>第3節 道路網の整備・充実</p>					
事業開始年度	令和2年度	事業終了(予定)年度	令和2年度			
事業期間の設定理由	本年度納品完了のため					
交付金事業の概要成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和2年度
	車載式小型散布機購入による散布作業効率の向上 (作業時間の短縮率 50%)	作業時間の短縮率(散布機納品後2か月間の散布作業の1㎡あたりの平均作業時間)／従前の同様箇所での1㎡あたりの平均作業時間)	成果実績	%	80	
			目標値	%	50	
			達成度	%	160	
	評価年度の設定理由					
	本年度納品完了のため					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
広範囲かつ効率的に作業ができるようになりました。今後も地元住民がより安心して通行できるよう従事します。						

	評価に係る第三者機関の活用の有無				
	無				
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	令和2年度	年度
	凍結防止剤散布機の購入(3台)	活動実績	台	3	
		活動見込	台	3	
		達成度	%	100	
交付金事業の総事業費等	令和2年度		年度	年度	備考
総事業費(円)	4,576,000				
交付金充当額(円)	4,400,000				
うち文部科学省分					
うち経済産業省分	4,400,000				
交付金事業の契約の概要					
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額(円)	
	物品売買	指名競争入札	富士岡山運搬機株式会社(津山市)	4,576,000	
交付金事業の担当課室	岡山県 美咲町役場 建設課				
交付金事業の評価課室	岡山県 美咲町役場 建設課				

別紙

I. 事業評価総括表（令和2年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当 額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	津山市立学校給食センター維持運営事業	津山市	6,000,000	6,000,000	8,479,000 （総事業費）

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II.事業評価個表(令和2年度)

番号	措置名	交付金事業名				
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	津山市立学校給食センター維持運営事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		津山市				
交付金事業実施場所		津山市草加部(津山市立草加部学校食育センター)				
交付金事業の概要		津山市立草加部学校食育センターの安定的な運営管理のため、令和2年9月分の津山市立草加部学校食育センター給食調理業務委託料に充当します。				
交付金事業に関する市町村の主要政策・施策とその目標		<p>交付金事業に関する主要政策・施策 津山市第5次総合計画(平成28年度～令和7(平成37)年度) まちづくりの大綱Ⅰ 子育て環境の充実と人と文化を育むまちづくり 2 次代を担う子どものために 1) 義務教育の充実 ⑥ 学校保健及び学校給食の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが生涯を通じて自主的な健康づくりを实践できるよう、家庭や地域などと連携し、心身の健康教育の充実を図ります。 <p>また、地域の産物や食文化を理解し尊重する心の醸成、生産などに携わる人々の努力や食に対する感謝の念を育み、地域産業の活性化や環境負荷の低減へも配慮しながら、安全・安心でおいしい給食を安定して提供するとともに、食育を推進します。</p>				
事業開始年度		平成28年度	事業終了(予定)年度		令和7(平成37)年度	
事業期間の設定理由		津山市第5次総合計画の終期まで				
交付金事業の概要成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度 令和2年度	
		津山市立草加部学校食育センターの安定的な運営管理を図り、安全・安心でおいしい学校給食を提供する。数値目標としては、学校長が行う給食検食の結果を点数化し、平均4.2点以上とする。	学校長が行う給食検食の結果を点数化(「味付け」、「色・形態・香り」、「一食分の量」、「温度」、「異味異臭」、「異物混入」の各項目ごとに適正な場合を1点とする。6点満点)し、平均4.2点以上	成果実績	点	6.00
				目標値	点	4.2
				達成度	%	142.86
		評価年度の設定理由				
		交付金事業対象期間内(令和2年9月1日から令和2年9月30日)に行った給食検食を基に評価を実施				
		交付金事業の定性的な成果及び評価等				
<p>本交付金の活用により、学校給食センターの安定的運営が確保できました。また、成果指標として設定した給食検食の結果が、平均4.2点以上を達成し、子どもたちへ安全で安心な給食を提供することができました。今後も学校給食センターの安定的な運営と安全・安心の給食を提供することで、電源立地地域である当市の地域振興に寄与するとともに、地域住民の電力施設の設置・運転への理解に大きく寄与できるものと考えます。</p>						
評価に係る第三者機関の活用の有無						
無						

交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	津山市立草加部学校食育センターが給食を提供している市内の小・中学校及び幼稚園数		活動実績	校(園)	18(1)	18	18
			活動見込	校(園)	18(1)	18	18
			達成度	%	100	100	100
交付金事業の総事業費等	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考			
総事業費(円)	8,325,000	8,325,000	8,479,000				
交付金充当額(円)	6,000,000	6,000,000	6,000,000				
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	6,000,000	6,000,000	6,000,000				
交付金事業の概要契約の概要							
契約の目的		契約の方法	契約の相手方		契約金額(円)		
給食センター 給食調理業務委託		随意契約(技術提案)	株式会社東洋食品(東京都台東区)		506,591,666円 (平成30年8月1日～令和5年7月31日) 令和2年9月分:8,479,000円		
交付金事業の担当課室	津山市学校教育部保健給食課						
交付金事業の評価課室	津山市学校教育部保健給食課						

別紙

I. 事業評価総括表（令和2年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当 額	備考
1	地域活性化措置	新庄村保育所維持運営事業	新庄村	4,637,000	4,637,000	6,045,784（総 事業費）

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II.事業評価個表(令和2年度)

番号	措置名	交付金事業名			
1	地域活性化措置	新庄村保育所維持運営事業			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		新庄村			
交付金事業実施場所	岡山県真庭郡新庄村				
交付金事業の概要	新庄村保育所の保育士3名分の人件費(令和2年7月1日～令和2年12月31日までの給料及び12月期の期末・勤勉手当)。保育士を確保、育成することで保育サービスの充実を図っており、その財源として、電源立地地域対策交付金を活用しています。				
交付金事業に関する市町村の主要政策・施策とその目標	<p>【主要政策・施策】 新庄村振興計画(令和2年度～令和6年度) 第3部:基本計画 3 次世代応援プロジェクト 少子化対策 安心して子どもを生み育てることができる環境づくりのために、地域で子どもを育てる意識の醸成と支援体制づくりを進めていく必要があります。このため、地域で子どもを育てる意識の啓発や、子育て中の保護者が気軽に集える場所を提供するなどの環境を進めていきます。</p> <p>【目標】 ・共働きの家庭でも安心して子どもを生み育てられる支援体制</p>				
事業開始年度	令和2年度	事業終了(予定)年度	令和2年度		
事業期間の設定理由					
	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和2年度
	保育士を確保・育成することで、村内の共働き世帯等の保育を必要とする子ども全員を保育所で受け入れることができるよう取組を進め、要保育児の入所率100%を目指す。	要保育児の入所率 (入所要保育児数/入所希望要保育児数)	成果実績	%	97%
			目標値	%	100%
			達成度	%	97%
	評価年度の設定理由				
	成果目標は子どもを安心して生み育てることができる環境を実現するために、恒常的に取り組む必要があり、毎年度評価することとしている。				

交付金事業の概要成果目標及び成果実績	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	<p>本交付金の活用により、保育所職員3名分の6ヶ月分の給料及び12月期末・勤勉手当を確保することができました。参観日等の機会を捉え、保護者に参観日の感想や保育に対する意見・要望等のアンケートを実施したところ、「十分満足している」という好意的な意見が多く占めています。今後も継続して、保育士を確保、育成していくことで、保護者の満足度を上げていくこととします。</p> <p>今年度は施設要件により待機児童が1名生じ、目標を達成できませんでしたが、今年度中に保育所の増床を行いましたので、来年度は目標を達成できる見込みです。</p> <p>また、保育所の運営費の一部は、国の電源立地地域対策交付金を財源としていることを村のHPや広報誌で村民に周知することで、引き続き、地域住民の電源開発への理解促進を図っていく予定です。</p>						
	評価に係る第三者機関の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	平成31年度	令和元年度	令和2年度
	保育士の雇用人数		活動実績	人	3	3	3
			活動見込	人	3	3	3
			達成度	%	100	100	100
交付金事業の総事業費等	平成30年度	令和元年度		令和2年度		備考	
	総事業費(円)	5,351,189	5,920,353		6,045,784		
	交付金充当額(円)	4,640,000	4,640,000		4,637,000		
	うち文部科学省分						
	うち経済産業省分	4,640,000	4,640,000		4,637,000		
交付金事業の契約の概要							
	契約の目的	契約の方法		契約の相手方		契約金額(円)	
	人件費	雇用		保育士 3名		6,045,784	
交付金事業の担当課室	岡山県 新庄村 保育所						
交付金事業の評価課室	岡山県 新庄村 総務企画課						

別紙

I. 事業評価総括表（令和2年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は は間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当 額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	小中学校給食共同調理場維持運営事業	新見市	6,000,000	6,000,000	7,525,200 (総事業費)

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II.事業評価個表(令和2年度)

番号	措置名	交付金事業名			
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	小中学校給食共同調理場維持運営事業			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		新見市			
交付金事業実施場所		新見市新見ほか4件			
交付金事業の概要		市内小中学校給食共同調理場における施設の維持運営費(給食調理員9名3か月分給料(R2.9.1~R2.11.30))			
交付金事業に関する市町村の主要政策・施策とその目標	<p>第2次新見市健康増進計画(平成30~39年度)</p> <p>【3】施策分野別の取組</p> <p>3 食育推進計画</p> <p>・食育の基礎を形成する幼少期から食への関心を高め、健康な身体作りのために望ましい食習慣が定着するよう、市民・関係団体・関係機関と協働のもと、「食を通じた健康な身体づくりと人や地域とのつながりが持てるまち」を目指します。</p> <p>目標:</p> <p>小・中学生の肥満率 5%以下</p>				
事業開始年度	令和2年度	事業終了(予定)年度		令和2年度	
事業期間の設定理由					
交付金事業の概要成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和2年度
	市内小中学校給食共同調理場において、9月、10月、11月における給食検食簿の「良」評価割合の平均が、味付け・分量・盛り付けそれぞれにおいて80%を超えること。	(9月、10月、11月給食検食簿の学校ごとの「良」の割合)×100/(9月、10月、11月の給食検食簿総学校数)	成果実績	点	「味付け」の平均:100.0 「分量」の平均:99.9 「盛り付け」の平均:100.0
			目標値	点	80.0
			達成度	%	124.8
	評価年度の設定理由				
	事業実施期間終了後、速やかに評価を行い、次年度の事業実施に反映させることで、PDCAサイクルを円滑にするため。				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
	本交付金を活用することで、市内調理場の9月~11月分調理員人件費を確保することができました。また、味付け・分量・盛り付けの全指標において、目標以上の実績となりました。個別の調理場においても、全指標において「良」評価が98%以上となり、非常に良い結果となっています。今後も引き続き児童・生徒においしく健康的な給食を届けられるようにしていきます。				
	評価に係る第三者機関の活用の有無				
	無				

交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	平成30年度	平成31年度	令和2年度
	市内5調理場における調理員雇用量(9月・10月・ 11月) (雇用人数(人)×雇用期間(月)) ※平成30年度・31年度は10月・11月の2か月	活動実績		人月	20	22	27
		活動見込		人月	20	22	30
		達成度		%	100	100	90
交付金事業の総事業費等	平成30年度	平成31年度		令和2年度	備考		
総事業費(円)	6,547,000	6,532,600		7,525,200			
交付金充当額(円)	6,000,000	6,000,000		6,000,000			
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	6,000,000	6,000,000		6,000,000			
交付金事業の概要契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額(円)	
調理員人件費		雇用		調理員9名		7,525,200	
交付金事業の担当課室	教育委員会 学校給食センター						
交付金事業の評価課室	新見市総務部財政課						